

## 秋田県北秋田市

### 基本情報

- 気候：内陸平坦部
- 土質：灰色低地土
- 従事人数：3人(家族のみ)
- 臨時雇用：2人(田植え時)
- 飼料用米の作付開始：H27年産

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	15.8ha	30a
加工用米(移植)	1.8ha	30a
飼料用米(移植)	10.1ha	30a
エダマメ	0.3ha	30a

### 経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 主食用品種は「あきたこまち」、主食用：加工及び飼料用＝6：4
- 主食用米は、全量1等米で、単収550kg/10aの安定確保を目指す
- 主要機械各1台で、稲作規模約30haを実践

### 稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- 肥料
  - ①15kg袋肥料(窒素成分27%と高い)による作業負担軽減(従来の20kg袋(窒素成分14%)と比較して、窒素成分当たり4割軽量)
  - ②コーティング尿素を配合した緩効性肥料による追肥省略
  - ③大口購入割引と安価なホームセンターの肥料の利用によるコスト低減
- 農薬
  - ①背負式動力噴霧機から乗用管理機「ブームスプレーヤ」への変更による農薬散布作業の省力・効率化
- 機械
  - ①ブームスプレーヤの車輪跡を活用した水管理(溝掘り作業の省略)

### 導入効果

- 施肥
  - 肥料費 ▲約3割  
(慣行の肥料調達と③の取組との比較)
  - 労働時間 ▲約5%  
(慣行追肥作業実施と②の取組による省略との比較)
- 防除
  - 労働時間 ▲約6割  
(動力噴霧機との比較)
- 機械
  - 労働時間 ▲約2%  
(溝掘り機による溝掘り作業との比較)

肥料  
20kg袋

成分当たり  
4割軽量

肥料  
15kg袋  
高成分

高成分肥料による軽労効果

### 支援体制

- JAの技術情報提供及び技術支援
- 県振興局農業振興普及課の技術・経営支援
- JA・市等関係機関による機械導入等の支援(補助事業、リース事業、融資等)

### 課題・今後の目標

- 米の収量や品質への影響はなかった(H27産)
- 作付けほ場の面的集積による作業の効率化